

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ココマ本体の施工は、「ココマ ーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編ー 取付説明書（E231）」、「ココマ ーガーデンルーム腰壁タイプ、サイドスルー腰壁タイプ編ー 取付説明書（E232）」で施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

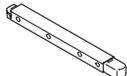
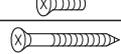
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■ 梱包明細表

【1】 入隅用部材セット

名 称	略 図	員 数
落とし棒取付シャフト		1
入隅用部材		1
召し合わせビート（端部側）		1
入隅用戸当り枠		1
落とし棒取付シャフト受け金具		1
入隅用戸当り固定枠		1

【1】 入隅用部材セット（つづき）

名 称	略 図	員 数
交換用アーム調整材		1
パネル小口キャップカバー（右入隅用）		1
パネル小口キャップカバー（左入隅用）		1
部分入隅パネル固定金具		2
【1-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【1-2】 φ4×13特サラネジ		3
【1-3】 φ4×16ナベドリルネジ		3
【1-4】 S6フィッシャープラグ		2
【1-5】 φ4×14ナベタッピンネジ 3種		2
【1-6】 φ4×12薄平ネジ		8
【1-7】 φ4.1×40サラ木ネジ		2
取付説明書〈E304〉	—	1

1. 基本寸法

1-1 方立納まり

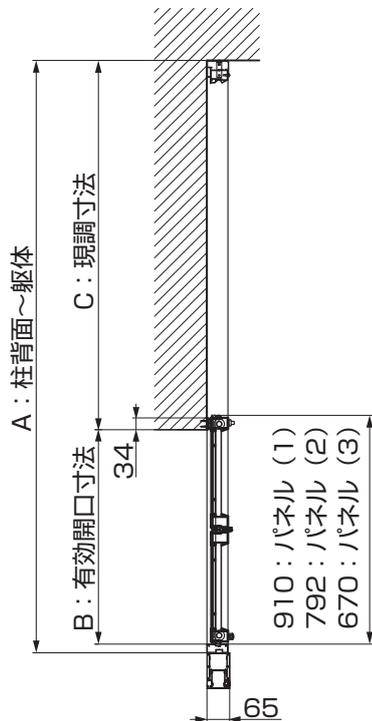


図1-1 パネルを閉めた場合

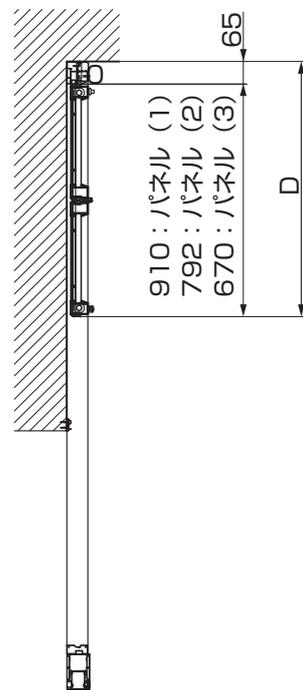


図1-2 パネルを開けた場合

1-2 移動方立納まり

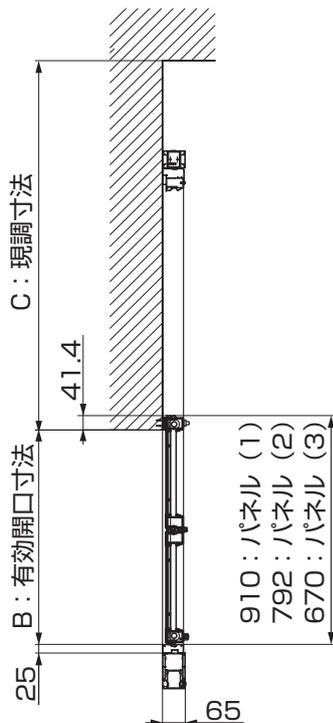


図1-3 パネルを閉めた場合

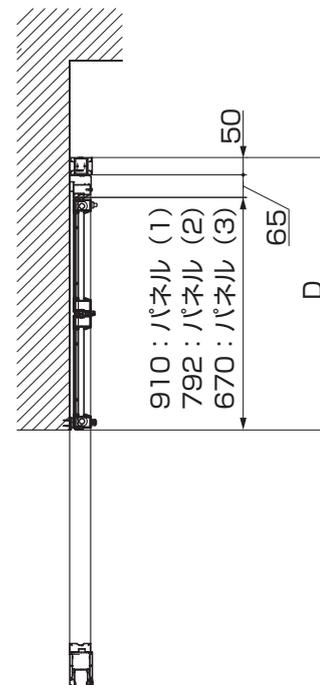


図1-4 パネルを開けた場合

ポイント

●移動方立の取付けは、「ココマ 移動方立 取付説明書 (E238)」を参照してください。

2. 部材の加工

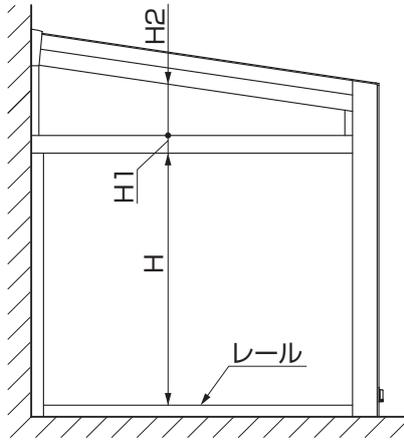


図2-1 方立納まり

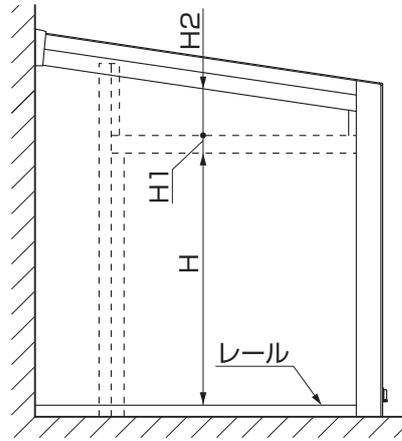


図2-2 移動方立納まり

表2-1

高さ	切断寸法H3
H24	0
H22	200
H20	400

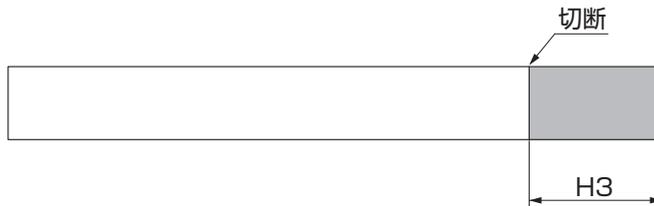
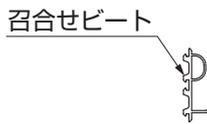


図2-3

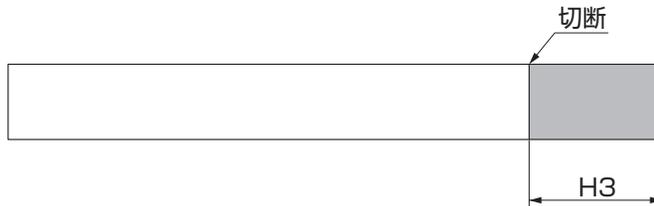
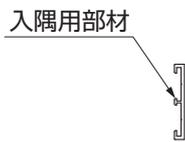


図2-4

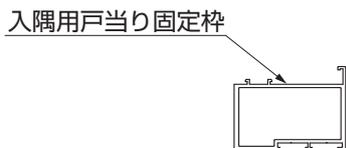


図2-5

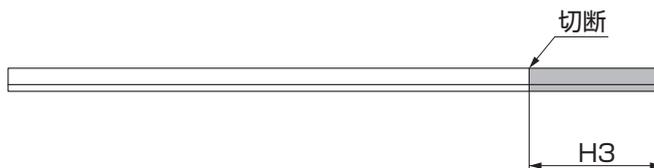


図2-6

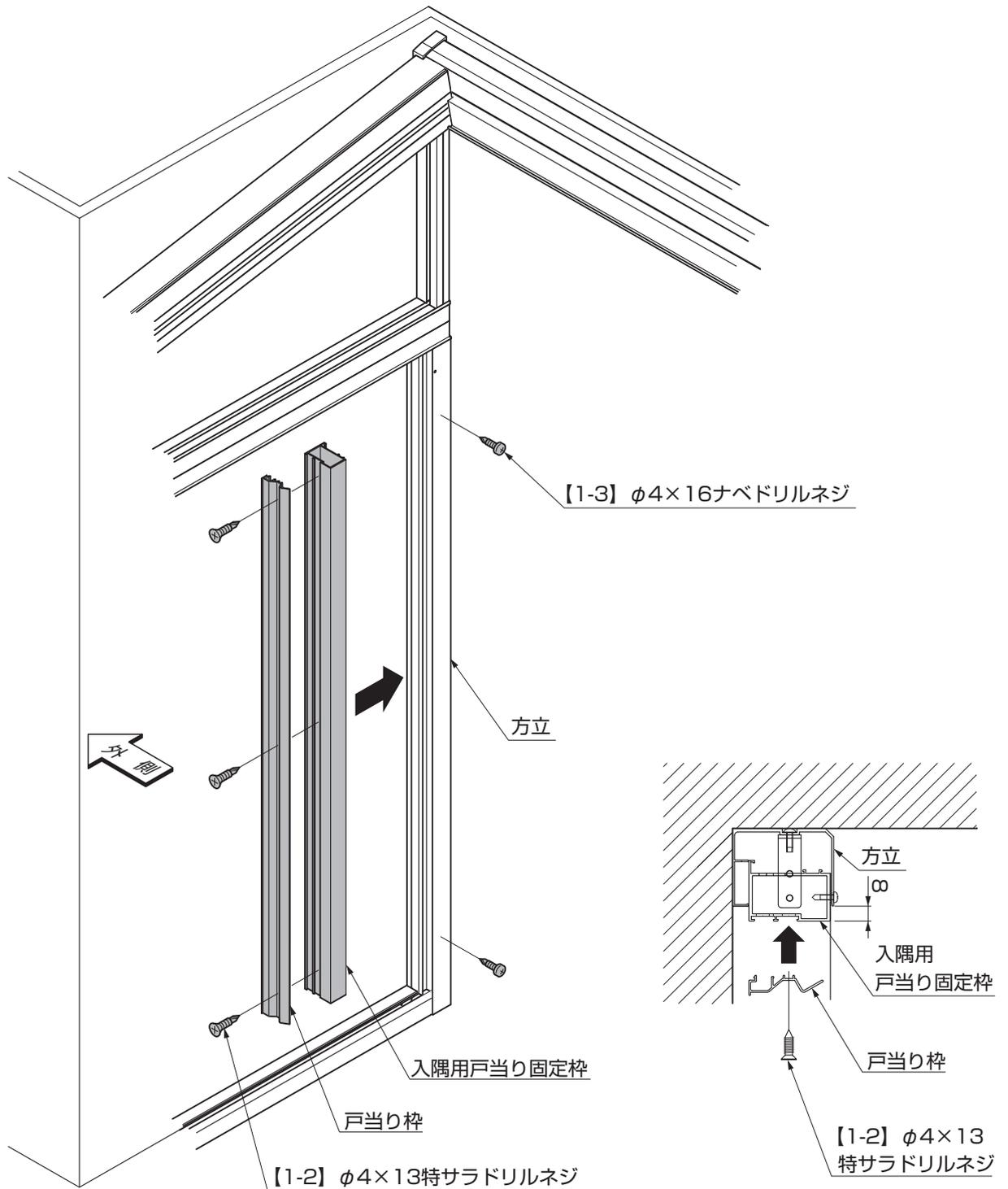
①図を参照して加工してください。

ポイント

- 各部材はH24用で梱包されています。施工する高さにあわせて加工してください。ただし、H寸法は現場によってズレが生じる場合がありますので、H寸法を実測した後に切断してください。

3. 部分入隅の取付け

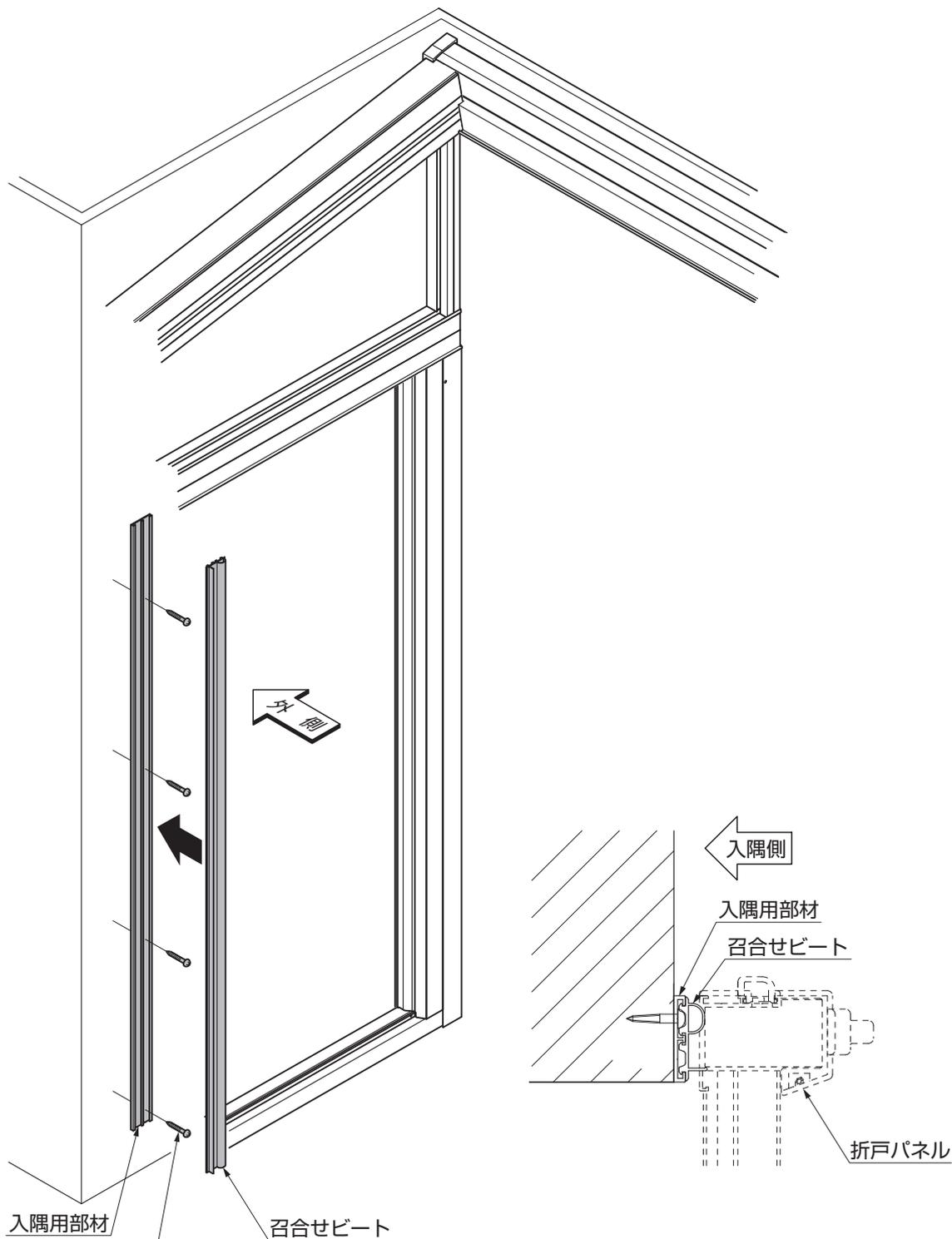
3-1 戸当り枠の取付け



- ①戸当り部材を方立に【1-3】で取付けてください。
- ②戸当り枠を戸当り部材に【1-2】で取付けてください。

3. (つづき)

3-2 入隅用部材の取付け



【1-1】φ4.5×63丸木ネジ

- ①入隅用部材に下穴をあけ、入隅側の躯体に【1-1】で取付けてください。
- ②召合せビートを入隅用部材に取付けてください。

🔑ポイント

- パネルを閉めた時は、縦棧の位置と召し合わせビートが合う位置に入隅用部材を確実に取付けてください。

4. 折戸パネルの加工

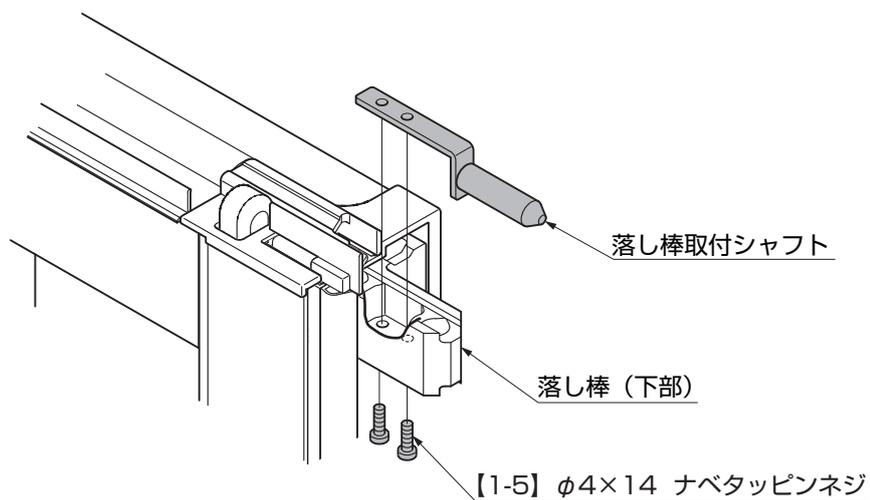
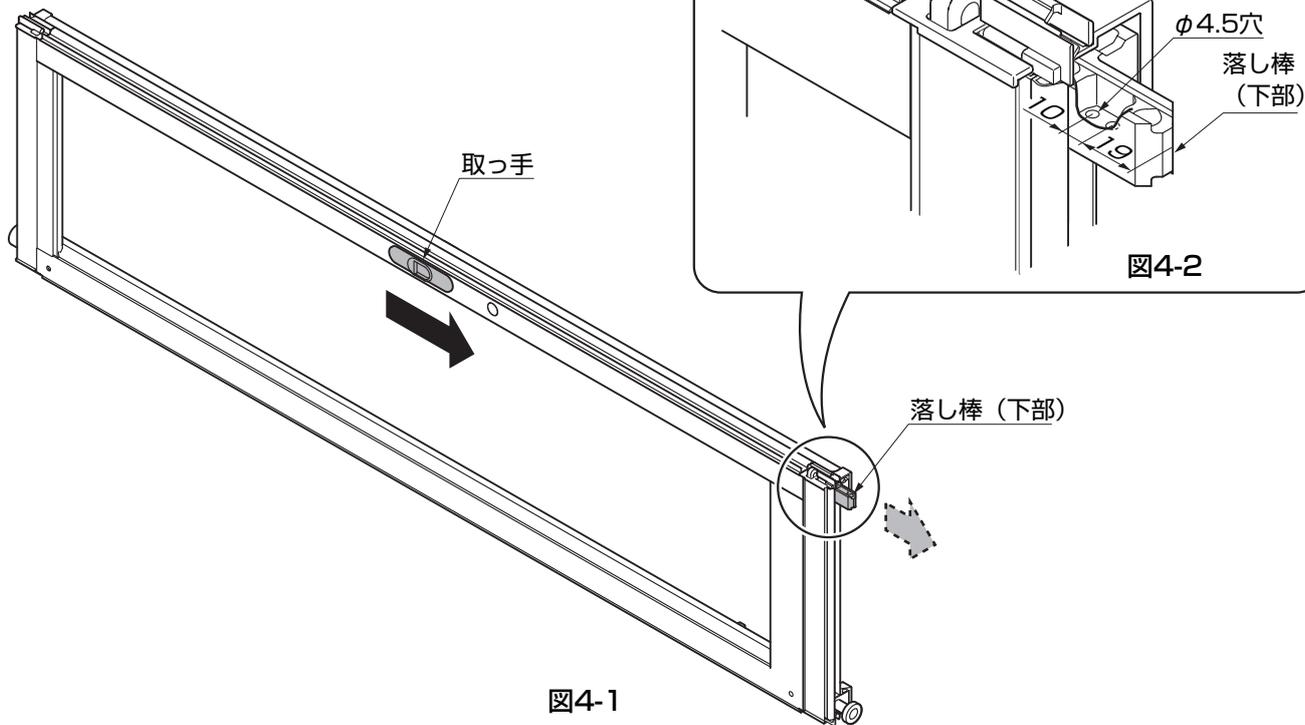


図4-3

- ①パネルを横にして立ててください。(図4-1参照)
- ②取っ手をずらし落し棒を出してください。(図4-1参照)
- ③落し棒に $\phi 4.5$ の穴をあけてください。(図4-2参照)

ポイント

●穴加工は、落し棒取付部品を落し棒の溝にはめ込み、落し棒下端に密着させ、落し棒取付部品の穴をガイドにしてください。

- ④落し棒取付シャフトを【1-5】で取付けてください。(図4-3参照)

5. 下レールの加工

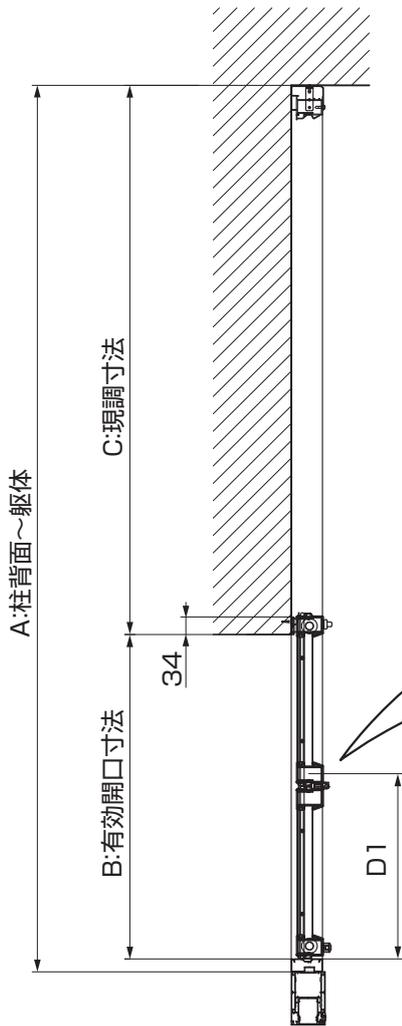


図5-1

表5-1

	D1
パネル(1)	475
パネル(2)	416
パネル(3)	355

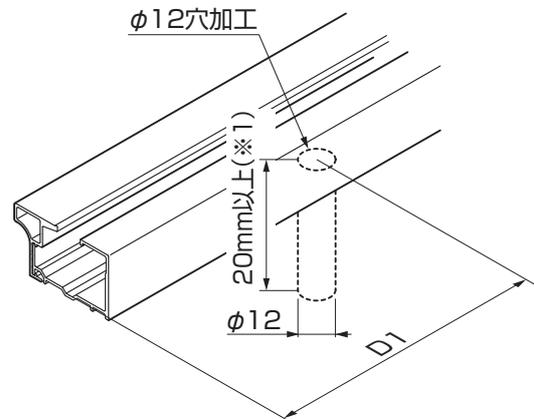


図5-2

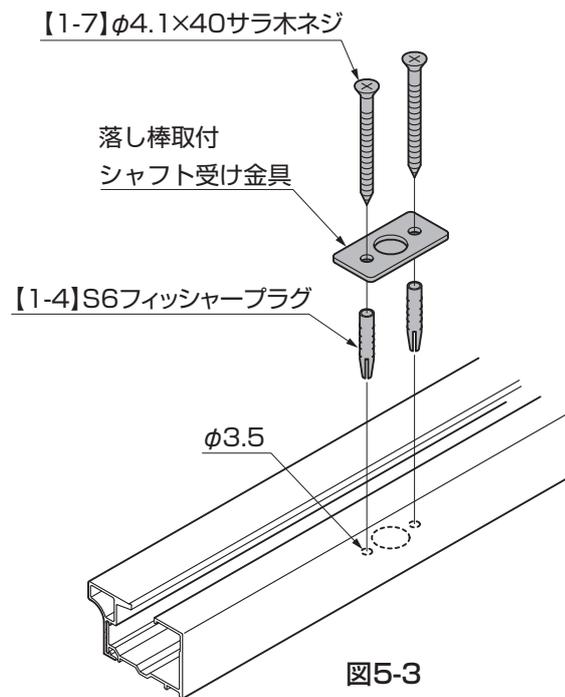


図5-3

①下レールから床面を貫通してφ12の穴をあけてください。(表5-2参照)

ポイント

●床面が土間およびデッキの場合は、穴の深さを20mm以上にしてください。(※1)

②落し棒取付シャフト受け金具の穴位置と下レールに加工した穴をそろえるようにして、下レールにφ3.5の穴をあけてください。(図5-3参照)

ポイント

●土間仕様の場合は、【1-4】を使用して【1-7】を取付けてください。

③落し棒取付シャフト受け金具を【1-7】で取付けてください。

6. パネルの吊込み

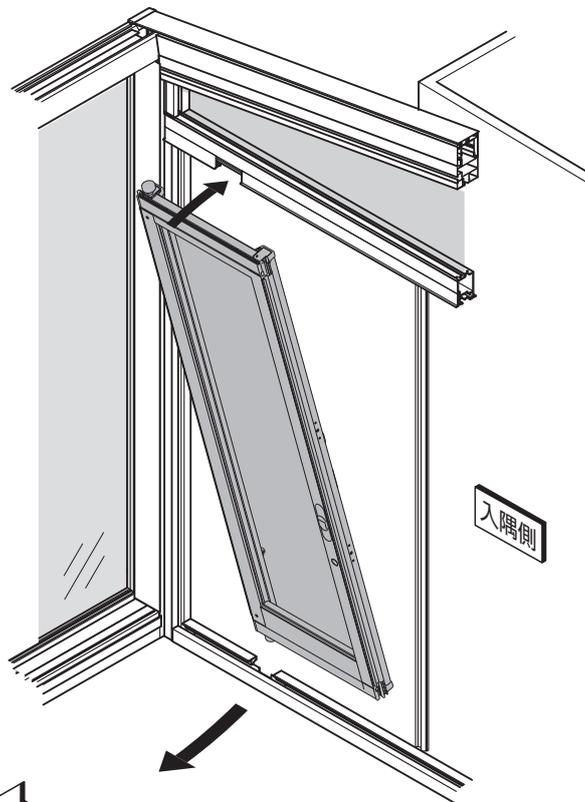


図6-1

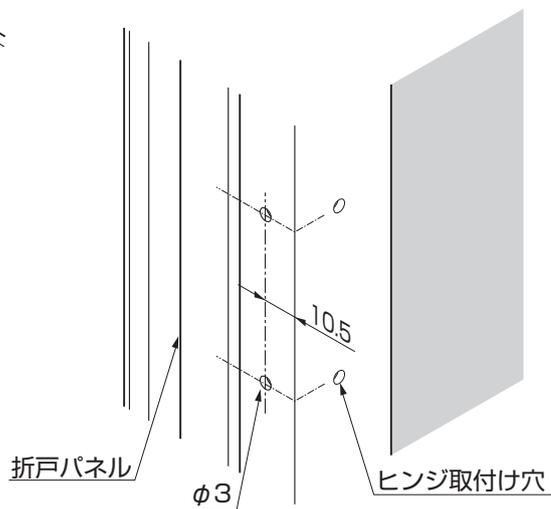


図6-2

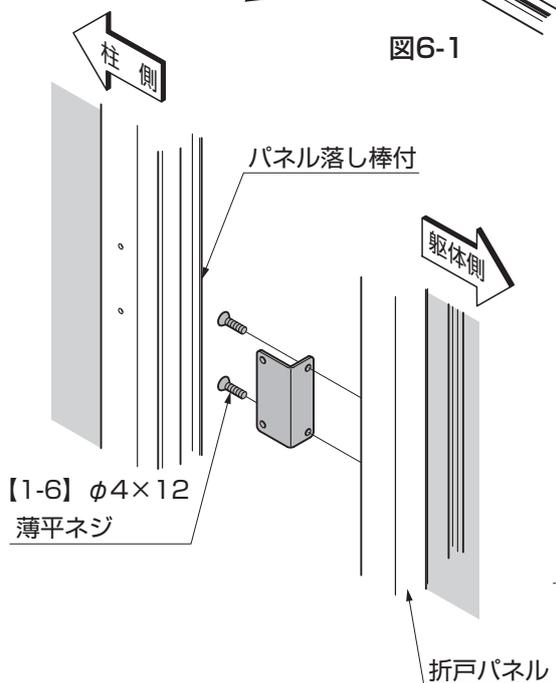


図6-3

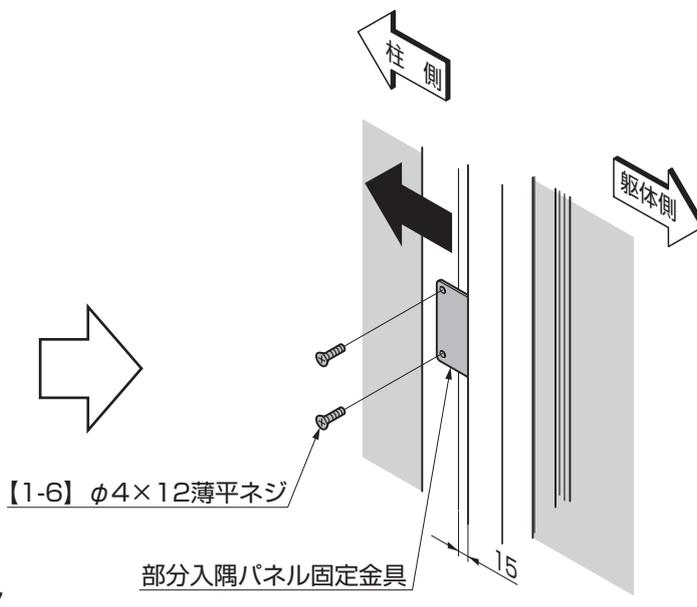


図6-4

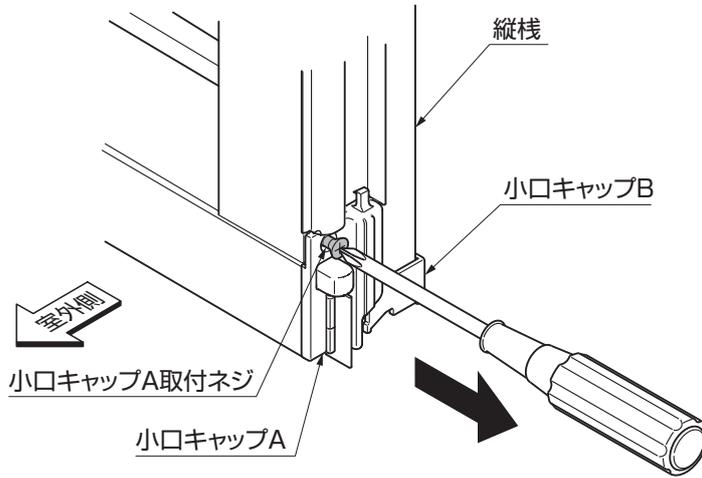
ポイント

●外観右はパネル、パネル落とし棒付の順に、外観左は、パネル落とし棒付、パネルの順に吊り込んでください。

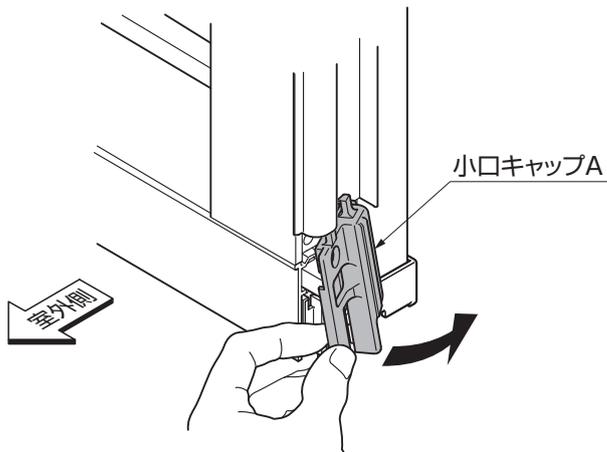
- ①折戸パネルを1枚ずつ吊り込んでください。(図6-1参照)
- ②折戸パネルのヒンジ取付け穴から水平にケガキ $\phi 3$ の穴をあけてください。(図6-2参照)
- ③部分入隅パネル固定金具を、パネル落とし棒付のヒンジを取付ける穴に【1-6】で取付けてください。(図6-3参照)
- ④折戸パネルを合わせて並べて、部分入隅パネル固定金具をパネル落とし棒付に【1-6】で取付けてください。(図6-4参照)

7. パネル小口キャップとボトム材の取外し

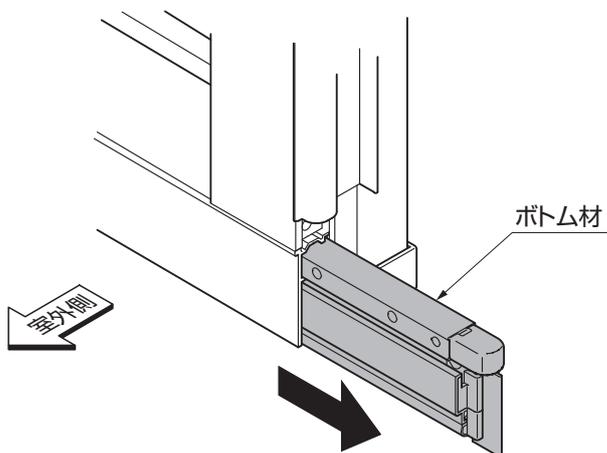
※作業は引戸にするパネルの一番躯体側のボトム材で行なってください。
※図は、外観右の場合を示します。



①小口キャップA取付ネジを取外してください。



②小口キャップAを取外してください。



③ボトム材を手前にゆっくりと引き出してください。

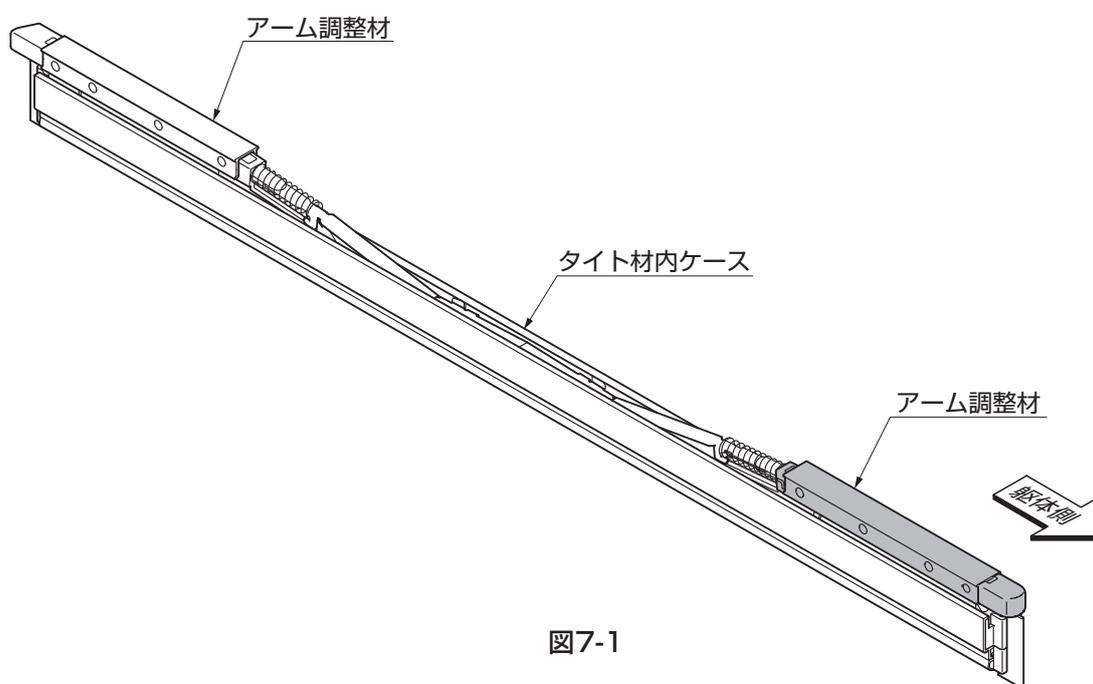


図7-1

- ④ 躯体側のアーム調整材を取外してください。
- ⑤ 交換用アーム調整材を取付けてください。

ポイント

● 交換用アーム調整材には向きがあります。図7-1を参照して取付けてください。

8. ボトム材の挿入方法

①ボトム材を所定の位置に差込んでください。

ポイント

- アーム調整材をフィン(※1)に乗せながら差込んでください。
- ボトム材には左右があります。間違えるとボトム材が正しく作動せず、ボトム材が破損するおそれがあります。

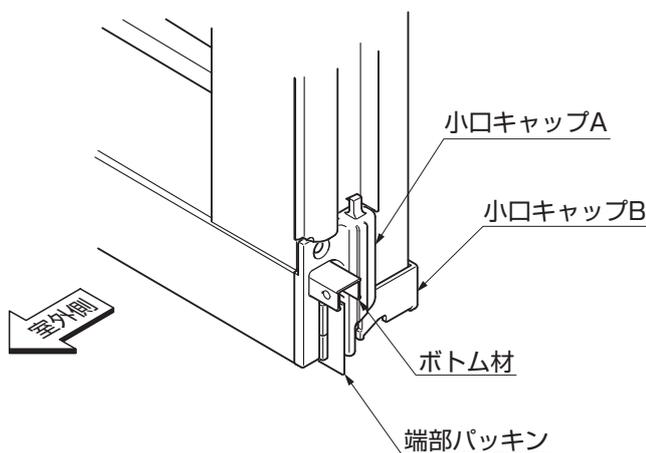
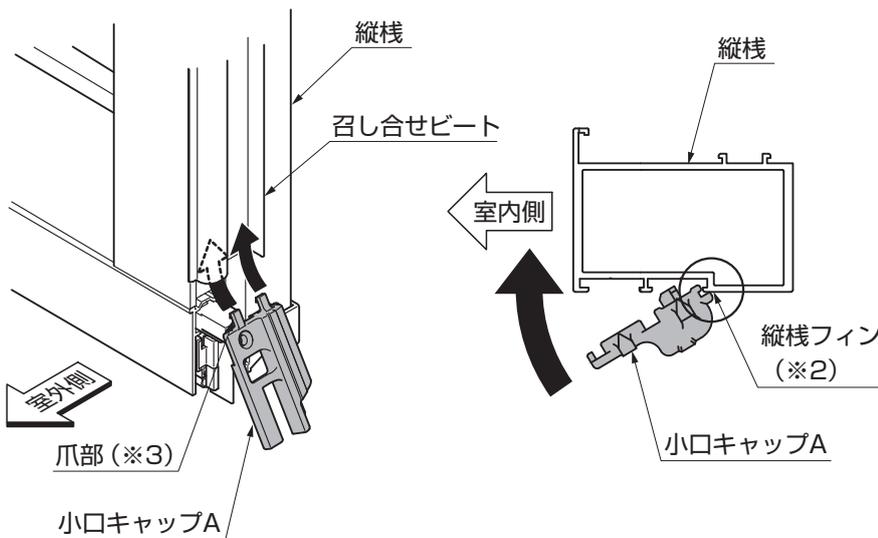
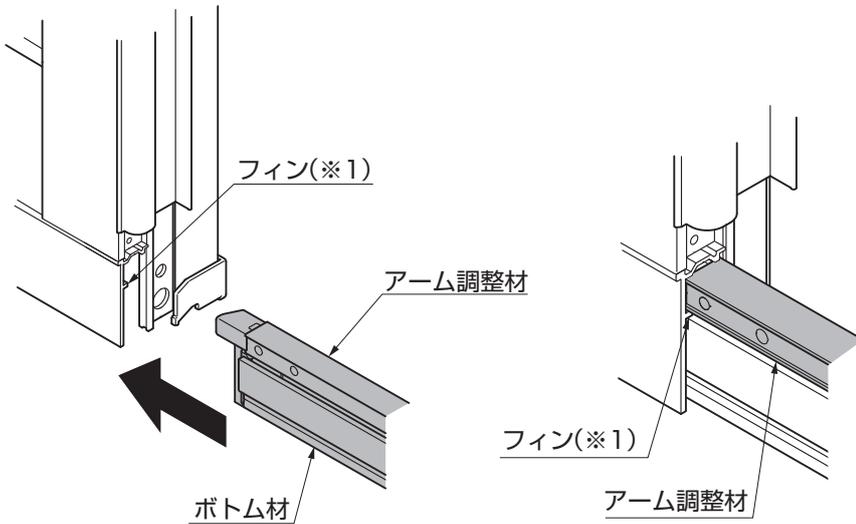
②小口キャップAを縦棧フィン(※2)にはめ合わせながら、爪部(※3)を召し合せビートに確実にかみ込むように取付けてください。

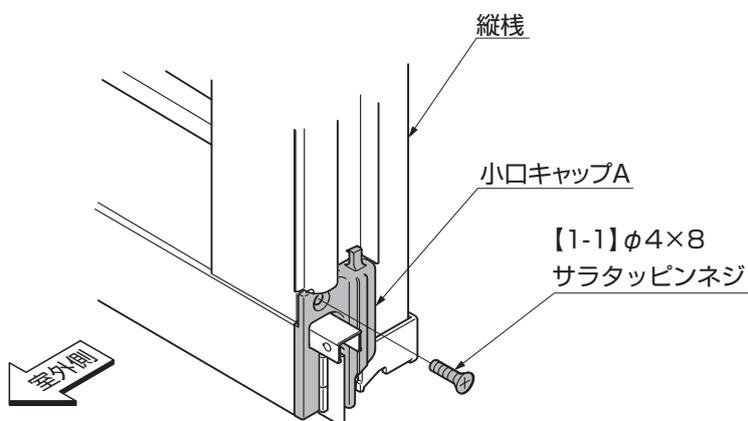
ポイント

- 取外した小口キャップA、Bに変形などの不具合がある場合には、新品の小口キャップA、Bに交換してください。
- 小口キャップA、Bには左右があります。取外した小口キャップA、Bと同じ向きのもので取付けてください。

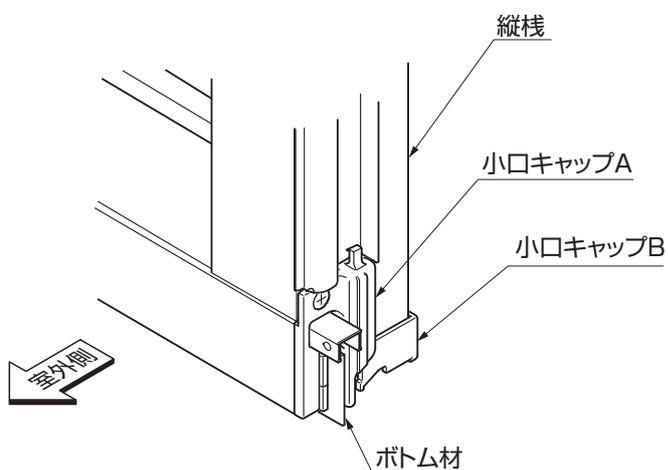
補足

- 小口キャップAは、端部パッキンを持ってボトム材を少し下に動かすとはめやすくなります。

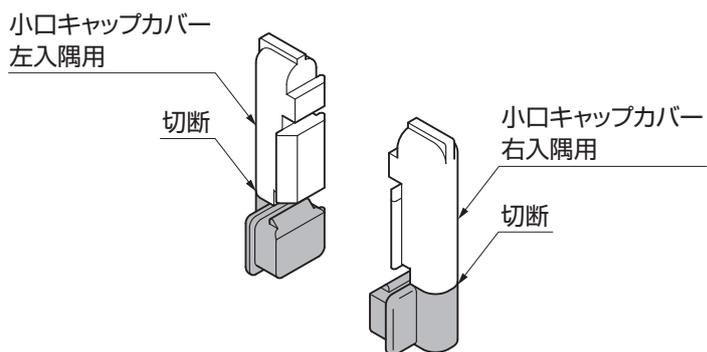




③小口キャップAを【1-1】で固定してください。



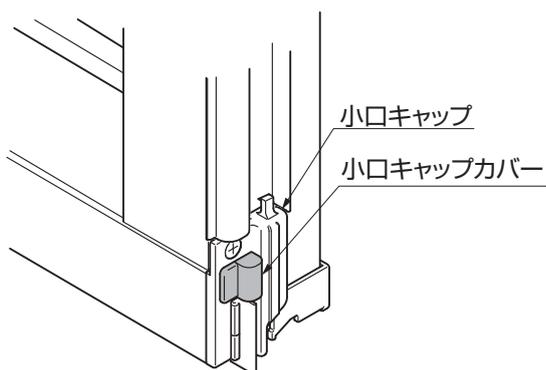
④ボトム材両端部のパッキンがよじれたり、小口キャップAにはさまったりしていないか確認してください。



⑤小口キャップカバーを切断してください。

ポイント

●小口キャップカバーは左右があります。左図を参照してどちらか一方を使用してください。



⑥小口キャップカバーを小口キャップにはめ込んでください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

